



IMAGINE
ROTARY

＜本年度クラブ会長方針＞ WEEKLY REPORT No.1620
ロータリーライフを楽しみ、
クラブの持続的成長を図ろう

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日12:30 例会場 名古屋東急ホテル
会長 加藤巳千彦 事務局 名古屋市中区栄4-7-10 栄第8ロイヤルビル6F
幹事 吉田憲一 電話(052)251-0181 FAX(052)251-0337 〒460-0008
URL http://www.nagoya-osu.org E-mail office@nagoya-osu.org

第1895回例会

ロータリー親睦活動月間
令和5年6月15日(木)
新会員卓話
於名古屋東急ホテル
会員62名

出席計算数
58名中50名出席
出席率 86.21%
前々回出席率 85.02%
・02%

★新会員卓話

「ロータリーソング」

「我らの生業」
(歌唱なし)

ゲスト

会館組織委員会ゲスト

(林順治さん(友人)
株式会社那須不動産
代表取締役 那須 明さん
東京紀尾井町RC
黒石 麗子さん

ニコボックス

新会員卓話楽しみです。黒石さん、
那須さん、ようこそおいで下さい
ました。
丹下 富博
吉田 憲一
黒石さんようこそ！
大上 晃延
岡部 快雅
西垣さん、堀さん、戸田さん、加茂
田さん卓話楽しみにしています。

藤田 激・横井 衛
吉田 隆彦



副会長挨拶

尾上 昇

先日の日曜日、何気なくテレビを見ていた。どこかの局の風のワイドショー番組である。と、気になるテロップが流れた。高齢者美態調査で、しかも、市区町村別長寿ランキングである。よく聞くと、国別とか県別なのだが、地域

高木 政義・内藤 啓吾
原 幸一・河合 誠弥
西脇 良輔・森 泰広
木村 光徳・鬼頭 茂成
岡村 隆徳・杉本 忠夫
新井 雅博・深谷 昭広
本日卓話よろしくお願ひします。
西垣亜天子
本日の卓話よろしくお願ひいたし
ます。
堀 曜子

限定とはめずらしい。思わず目を凝らした。
すると、またテロップが流れた。
トップは、川崎市麻生区である。
しかも、男女共長寿日本一である。
恐らくどこかのんびりした、自然豊かな地方の小都市だろうと想像していたのだが、意外であった。
男性84歳、女性89歳である。
解説があった。日本一の理由である。調査によると、麻生区は、持ち家率が高く歩人が多く、15分程度なら歩くし、歩けると答えた人が9割近くに及び。又、麻生区には、坂道が多く、緑豊かな街としても知られている。多摩丘陵の一角だからだ。さらには、区民の健康意識が高く、公園での健康体操、健康ウォーク、身近なスポーツ活動が盛んである。これが長寿の基であるとしている。要は、体を動かすことが長寿につながる健康寿命を延ばすことなるのである。
では、何故、体を動かすことと健康とが結び付くのか。運動すること、すなわち有酸素運動によって人の免疫力が高まり、代謝活動が活発化するからである。
これにより体脂肪が減り、内臓肥満や高血圧、高血糖などのメタボリック・シンドロームを防ぐ効果がある。又、心肺機能の強化、骨の強化、動脈硬化の改善、肝機能の改善、糖尿病の改善、腰痛の改善などが期待出来る、いいことずくめである。
具体的には、ジムやプールでしっかりとトレーニング。各種スポーツに親しむ。健康歩行(ウォーキング)などを意識的に行う、である。一番手軽なのがウォーキングである。この効果をより高めるには、背筋を伸ばし、腕・肩を前後に振るようにならばバランスを取って歩く。高い位置まで膝を上げる。できれば、早足で歩く。歩行時間は、30〜40分くらいは歩きた。これらのことを意識してウォーキングするよう。

皆さんのように「ゴルフでは、カートに乗り、ウォークと称して錦三を毎晩ほつき歩いているようでは、長寿にはほど遠く、むしろ健康を害しているのである。まあ、今日から心を入れ替えて、健康ウォークに挑戦してみよう。
私事で恐縮であるが、小生はほぼ週一ペースで名古屋近郊の低山歩きを実践しているし、「ゴルフもカートには極力乗らないように心掛けています。また、例会場の東急ホテルへは、夏場は汗を掻くのでやらないが、涼しくなると歩いています。会社からの距離26km、30分丁度である。小生、当年取って70歳ジャスト。まだまだ、若い者は負けとれん。

新会員卓話

「一生営業マン」 西垣亜矢子

西垣亜矢子です。この度卓話の題名を「一生営業マン」とさせて頂き、自己紹介を兼ねて営業マンになったきっかけや現在の状況をお話しさせて頂きます。

53年前、田舎で産まれ、父が宮大工をされていて毎日職人さんが集まる家庭に産まれ育ちました。毎日職人さんが自宅に集まっていますのでお茶出し、将棋、麻雀、囲碁時にはキャッチボール、ゴルフを相手させられる毎日でしたが職人さんが喜びまた父の仕事が増えるというお小遣いを頂く事に喜びを感じる毎日でした！

大学生になり、アルバイト先でもその事が役に立って沢山のお客様と触れ合い、サービス業・営業に關しての楽しさを身につける、そんな学生時代でした。そしてアル



バイト先で出逢った企業に就職する事になり株式会社ワコールの営業マンとして社会に出る事になりました。

大企業の看板を背負つての仕事でしたので全て経験が身になり、営業マンとして手腕を身に付け売る事の楽しさを学び、これがゆくゆく今の仕事に繋がっています。

〇は辞め、究極のサービス業である水商売のスタートを29歳で切る事になりますが、ここから挫折が始まります！商品も無い、看板も無い、学も無い、たいて可愛くも無い、無い無いづくしで日々足掻く毎日です！私の仕事は究極のサービス業、営業マンですが25年経つても未だ満足する日はありません。

貴重なロータリークラブに入会させて頂き、今後は諸先輩方々から学び、5年後には営業マンについて違った見方でまたお話し出来る日が来るまで努力し精進していきたいと思えます。

「清聴ありがとうございます。」

新会員卓話

「人と人をつなぐ」

プロフェッショナル」

堀 瞳子

5月より入会させて頂いたさましました株式会社フレッシュエージェンシーの堀瞳子と申します。早々

にこのようなお時間をいただきありがとうございますとございます。私は、1997年29歳から企業し今年で26年目になります。最初は同会やMCのお仕事から、留学を経て輸入ウエディングドレスの販売、フライダルプロデュースそして現在のイベント会社へと事業を進めてまいりました。

大きく分けて3つの事業がございます。1つ目は、ケータリングを主体とした出張パーティの機

会・運営。これは、主人が経営する株式会社JECOグループと

携です。新社屋や新工場での竣工パーティや懇親会・シヨールームでのイベントはお洒落に空間と料理を演出いたします。大人数イベントは、リニア鉄道館・水族館・吹上ホールの貸切りパーティなどをワンストップで企画し実行します。2つ目は、ホテルやイベントスペースで行つ各種式典・イベント企画・運営。ホテルやイベントスペースで行つ調達方針説明会や表彰式、メーカー企画や周年事業の運営。歳時記に合わせた観覧会やお月見イベント



の開催。そして、タレントキャスティングやお茶会・個展・音楽ライブの企画です。

3つ目が身体に優しい和漢薬膳

スープの商品開発と販売です。コロナ化でイベント・ケータリングのお仕事ゼロになった2021年、昔から好んで作って食べていた薬膳スープを商品化できないか？と考え、栄養管理士・シェフ・生産者の方と共同で開発販売へ向けてスタートし、8ヶ月後に完成したスープです。私自身も勉強し、和漢薬膳士の資格を取り、2021年11月から販売が始まりました。

添加物を使わず栄養に富み、手間をかけて調理し味わいに富むスープです。15種類の和漢薬膳と10種類の具材を使い、美味しく食べられるスープに仕上げました。

この3つのお仕事どれも、ノウハウや技術で「人と人をつなぐ」仕事です。その過程において、私は人と人をつなぐプロフェッショナルとして、多くの価値をご提供する事ができるはず。大好きな人と関わるお仕事は、私にとつてとても幸せなお仕事とライフ



新会員卓話

「運送業の2024年労働環境問題」

戸田 貴彦

わたたくしこの度、名古屋大須ロータリークラブ様に新規入会をいたしました名昭産業株式会社の戸田貴彦と申します。

現在、一般貨物自動車運送事業の代表を務めさせて頂いております。創業は父、昭が昭和33年に前身の戸田組を興し昭和45年11月に法人として設立をいたし、平成16年11月に代表に就任を致しました。

昨今、紙面等で騒がれております労働における2024年問題として真つ只中の業界でござります。しかしこの業界は今に始まった事では無く慢性的な人材不足が続いている状況の中の法規制には疑問を感じざるをえません。

元は1990年12月に認可制から届出制へと安易な規制緩和の実施による全国事業所社数が1.5倍に増加したこと。この為に採算を顧みない価格競争が起り、

安全・社員教育が十分にされないまま、それどころか後回しになり、その結果、悲惨な事故が多発いたしました。そのことに基づき過労問題が浮き彫りとなり規制強化に至ったと思われまます。

乗務員の報酬は一般的に一運行に付き運賃が発生し月トータルの合計運賃に対する運行手当や歩合手当などにて構成されており、先程申し通り一運行の運賃が下れば必ず報酬も下がる仕組みになっておりますので稼ぐためには、長時間が……そう、労働時間が長くなっても、もう一運行となるわけです。これが長時間労働になりやすい実情です。

どうしても他業種と比較しても平均賃金が下回りの長時間労働しても稼げないのであれば運送業には魅力はない訳です。

商品はお客様の手に届いてこそ、その商品価値を発揮するので



あり、倉庫に眠っている限りの売りに上げに繋がりません。物流は物造りのインフラとしての役割がより一層の重要な立場だと理解して頂きたいと価格改定を強力にするため乗務員地位向上を目指して対策や工夫を達成しようとして模索している最中です。

今後は他業種の皆様のご意見やお力添えを頂き今後も代表者としてのみならず一人人としても精進をして参りたいと思っております。宜しくお願い致します。

「清聴ありがとうございました。」

新会員卓話

「貯蓄から投資へ」 加茂田義幸

5月に入会いたしました、加茂田義幸と申します。本日は新入会員卓話という事で、私の経歴と仕事の話の話を少しさせていただきますと思っております。

私は、昭和54年（1979年）の4月14日生まれ、今年で44歳となります。生まれは兵庫県の神戸市で、高校生まで神戸で過ごし、大学は教職を目指して筑波大学体育専門学群へ進学しました。

学生時代は陸上競技に打ち込み、ハードルを専門として中学・高校・大学と陸上競技を続けました。本来であれば教職を目指していたのですが、私が大学を卒業した2002年は、就職氷河期だった事

もあり、兵庫県の体育教員の採用人数が非常に少なく、止むを得ず、いろいろな企業に就職活動を行い、縁あってSMBC日興証券に入社することとなりました。

入社後は、地元である神戸や、東京、広島といった支店で営業を経験し、2020年に東京の五反田支店で支店長を務め、この度名古屋駅前支店の支店長として、名古屋に転勤してまいりました。

名古屋での生活は初めてですが、現在は、妻と二人で初めての名古屋生活を楽しくしております。

ここで、仕事の話も少しさせて頂きます。

当社では、「健全な資本市場の発展を、豊かな人生・社会の実現につなげる」を経営理念に掲げております。岸田政権も「資産所得倍増計画」を政策として掲げ、来年からは新しい「NISA制度」もスタートいたします。



一方で、「貯蓄から投資へ」というスローガンは2003年から20年にわたって掲げられてきましたが、我が国では未だに欧米諸国と比べ貯蓄の比率が高い状況が続いております。

この間、米国では株価が大きく上昇し、その結果、個人の消費が上向き、好調な個人消費が企業の業績をさらに押し上げ、また株価が上がるという好循環が生まれております。

2056年、約30年後には人口が1億人を割り込むといわれている我が国において、米国のように好循環を生み出す事は、持続可能な社会の実現において、非常に大きな課題であると思っております。

この名古屋の地で、社業とロータリークラブでの活動を通じて、地域貢献と奉仕の理念を実践して参りたいと思っております。

今後ともご指導の程、よろしくお願いたします。



その他・お知らせ

国際ロータリー・ニュース

2023年6月1日

希望のメッセージととも

ロータリー国際大会が閉幕

2023年ロータリー国際大会が開かれたメルボルン（オースト



麻雀同好会第50回例会

令和5年6月15日(木) 於一富士

- 優勝 松井 健 さん
- 準優勝 河合 誠弥 さん
- 3位 尾上 昇 さん

新会員の方も参加して、賑やかに開催されました。ただいま会員募集中です！是非一度ご参加ください。

リアンでロータリーの未来を「イマジン」した会員と講演者らは、来年のシンガポール大会に目を向け、メンタルヘルスと福利に焦点を当てて世界と希望をわかちあっていくことを確認しました。

「シンガポールは、奉仕の精神と地域社会への貢献を体現する都市」



***2024年
国際大会委員会
シニアファ
ー・スコット委員長は述べます。**

「この都市国家は、文化、グルメ、イノベーションの中心地であり、建築や自然の美しさ、賑やかなナイトライフで知られています。シンガポールには誰もが楽しめる何かがあります」

閉会式で国際ロータリーのコードン R. マッキナリー 23-24 年度会長は、メンタルヘルスを最優先とするよう呼びかける理由を説明しました。自身の兄が自ら命を絶つたとき、メンタルヘルスの問題に対するスティグマと闘い、心のケアをより多くの人が利用できるようにすることを決意したと、マッキナリー氏は述べました。

「兄のほかの大勢の人が(自ら命を絶つまで)追いつめられるのは、メンタルヘルスの話題が依然として



タブー視され、メンタルヘルスサービスが不十分であることが主な理由の一つであると、あえて申し上げたいと思います。そのためロータリーに何かができるはずで、心の健康のニーズを私たちが地元地域や世界に示すことができると確信しています」

マッキナリー氏はこう続けます。「ロータリー会員として、また隣人として、誰かが支えてくれていて、皆が感じられるように互いに助け合うことができます。メンタルヘルスサービスを提唱し、メンタルヘルス分野の専門家との架け橋となることで治療へのアクセスを広げることができそうです」

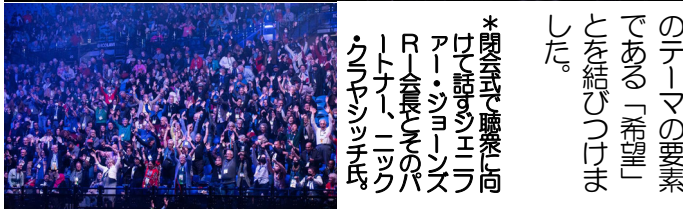
歴史における重要な時にこの取り組みに参加し行動を起こすことで「世界に希望を生み出す」よう、マッキナリー氏は呼びかけました。「希望を生み出すには、重要な活動を継続するだけでなく、それをもっと効果的に行っていく必要があります」とマッキナリー氏は「世界中で平和を築く取り組みに再び焦点を当てなければなりません。互いに助けあって心の中に平和を見出し、私たちが奉仕する人たちと、思いやりの心をかちあてていかなければなりません」

閉会式に先立つセッションで、ナイジェリアの Koyi Metro AM、ロータリークラブ会長であるクワンシ・アヤンジュー氏は、「ポリオのない世界」という約束を果たすことについて語りました。2022年、アヤンジュー氏はポリオ根絶への募金と啓発のためにロンドンからフランス(ナイジェリア)までオートバイで走破しました。「ポリオ根絶に向けたラストスパートに入っています。それが励みとなっています」とアヤンジュー氏は、「しかし、終盤に差しかかったときに、この30年間のすべての成果が1日で失われてしまう可能性もあるのです」

アヤンジュー氏はポリオ根絶の取り組みを自身のオートバイの旅にたとえ、次のように続けました。「サハラ砂漠にいたとき『なぜ自分はこのようにしているのか』と何度も自問しました。なぜこんなところに来てしまったのか?しかし、自分の中に残っていた強さが、『難しいが、可能だ』という気持ちを支えました。これこそ、世界からポリオを根絶するために必要な考え方です」

「困難だが実現可能」という点に焦点を当てたもう一つのセッションでは、元ロータリー平和フェローのライアン・ロウ氏が、ハイチの七つの郡の7万人に安全な水をもたらす取り組みを行っている同国のロータリアンを紹介しました。この活動は HANWASH (Haiti National Clean Water, Sanitation, and Hygiene

Initiative) の一環です。過去3年間、この取り組みでは井戸やトイレの建設、全国の水道システムの近代化のために、180万米ドルを調達しました。また、現地のエンジニアのメンタリングと研修プログラムに40万米ドルを投入する予定です。これは「世界が知るべきロータリーのインパクトを示す素晴らしいストーリー」だと、ロウ氏は述べます。ロータリー初の女性会長として歴史を作ったジェニファー・ジョーンズ会長は、閉会の挨拶の中で、自身の会長チームでもめるロータリーを「イマジン」(想像)すること、マッキナリー会長エレクトのテーマの要素である「希望」とを結びつけました。



*閉会式で聴衆に向けて話したジェニファー・ジョーンズ会長とそのパートナー、ニック・クマシッチ氏

「昨日を想像する人はいません。また、過去に希望をもつ人もいません」とジョーンズ会長。「希望」と「想像」とは、明日を表す言葉であり、前進を促す言葉です。互いに支えあって私たちが未来に導く道となるものです。それは継続という道です」



ロータリー国際大会(メルボルン、オーストラリア)「友愛の家」でハイチャルリアリティ体験を楽しむ参加者たち

文: Eteika Lehozky
写真: Monika Lozinska / Rotary International (国際ロータリー) IHRD (S)

6月29日(木) 例会の案内
定款規定により休会

7月6日(木) 例会の案内

- 次年度会長・幹事所見
- 次年度会長 丹下 高博さん
- 次年度幹事 大上 晃延さん

7月13日(木) 例会の案内
次年度委員長所見

公共イメーション向上委員会

- 木村 光徳・近藤宏一郎
- 萩原 賢一・藤田 徹

*本文は、原則、頂いた原稿を転載しています。